

調査報告

上田市塩田地区における
小学生の校外生活をめぐる現状と動向

— 1983年、1991年の調査結果をもとに（その1）—

The Trend of Children's Life After School,
in Shioda Area, Ueda City. (Part 1)

桜田 百合子

Yuriko Sakurada

〔目次〕

- I. はじめに — 調査の経過と課題
- II. 塩田地区の子どもをめぐる概況
- III. 調査結果の分析
 - 1. 調査の概要と分析の枠組み
 - 2. 調査対象者の基本的属性
 - 3. 日頃の遊びをめぐる実態と動向(以上本号)
 - 4. 平日の校外生活時間構成と日曜日の過ごし方
 - 5. 通塾(スポーツ教室を含む)の実態・意識
 - 6. 校外生活のきまり(規制)の認知状況
 - 7. 家族・近隣者との触れ合い状況
- IV. 若干のまとめ

I. はじめに — 調査の経過と課題

この報告は1983年度初回実施、8年後の1991年には追跡調査の形をとって実施した長野県上田市塩田地区小学生の校外生活に関する調査のまとめである。2回分の調査結果を取り扱うが、1991年度実施のものからは、それに関する現状が、さらに両回の比較・検討からはこの間の動向を把握できるものと考えている。

このような調査を手がけるに至った契機は、1983年当時、長野大学近辺の塩田地区において自治会連合会等を中心とした「まちづくり」の活動が活発化、これに触発されて学内に「塩田地区まちづくり」のための基礎的研究」と銘打った共同研究のプロジェクトが発足、その一端に「塩田地区における子ども(小・中学生)の地域(校外)

生活の実態と課題」という分担テーマを掲げて参加したことにある。

初回の調査はこの共同研究の一環として行われ、調査結果の一部は「長野大学公開講座」(第3回・於塩田公民館)等で発表した。しかしその全体像を公表する機会を失したまま今日に立ち至り、今回、追跡調査の計画・実施となった。なお、筆者以外の共同研究者の分担テーマ及び研究成果については、安井幸次氏の「上田市塩田地区における地域生活と住民意識」に関する調査報告が『長野大学紀要』6巻1号に、また高橋満、野原健一の両氏からは塩田地区の社会経済構造に関する論文が同・8巻1号、8巻4号、9巻2号にそれぞれ発表されている。しかし、その後、高橋・野原両氏の相次ぐ転勤等の事情が重なり、この共同研究は中断の状態経過している。

この報告は表題が示すように、塩田地区の住民の一翼をなす子ども(小・中学生)を対象にしており、その地域(校外)生活をめぐる実態と意識に関する調査報告である。上記の安井氏の報告が住民のうちの成人(20歳以上)を対象としている点からすれば、その「子ども版」とも言えよう。

本調査研究がこのような成人一般とは区別して子どもをとりあげた理由は次のような課題認識にもとずいている。子どもとは「年少者」のことで人生の最初期の年齢段階(およそ0~18歳)に属し、「未成年」とも呼ばれているように、生存・自活能力が脆弱・獲得途上にあり、特別の保護・教育を要する存在である。また成長・発達の急展開期であるが、「子どもは単なる大人の縮図ではな

い」といわれているように、子どもの成長・発達は成人のそれとは構造的に異なり、その独自・固有性に見合った成育環境や社会的な諸条件を整備することが大人、社会一般に課せられている。したがって、子どもの健やかな成長発達を保障するうえでの生活課題を調査・研究の対象とする際には、成人一般のそれに解消されない独自の設定・追求を必要としているのである。

ところで、今回、塩田地区のまちづくり運動に触発されて着手の本調査研究のテーマは「子どもの地域生活をめぐる実態と課題」であり、その枠組みを「地域社会」として設定している。この点に関して基礎視角・課題との関わりで若干の補足説明をしておきたい。

今日、子どもの成長発達をめぐる問題状態としては“子どもの心と体が触まれている”とか“群れて遊べない、遊ばない子ども”の増加が指摘されているように、子どもの基礎的・総体的な発達不全、人間形成の基盤の崩れとして具現化しているように思われる。こうした問題状態にたいしては、もとより、子どもの育ちに関わる者の全体的な働きかけを要するが、家庭の養育力の低下、学校教育の無力化が叫ばれている中で、地域社会が持つ教育力、子育て、人間形成力が注目されており、その今日的な再生が求められている。

その際、地域社会とは、こどもの日常生活のうちで最も自発的な行為の多様性と広がりのある生活領域として捉えられている。また、その教育力とは、こうした地域社会における多様な生活活動や人間関係の展開、その体験学習、自己教育を通して子どもの基礎的・総体的な発達を可能とする内容で理解されている。そして、このような地域社会の子育て、教育力づくりの主体は、父母や学校関係者に限られず、広く地域住民の共同的な取り組みとして求められているのである。

本調査研究では、地域社会を塩田地区の子どもの日常生活行動範囲として把握、その子ども(小・中学生)の地域(校外)生活の実態を把握し、“まちづくり”という住民の主体的な取り組み状況を見届けながら、地域の子育て課題を提示してゆく予定である。また今回の報告では塩田地区の子どものうち、小学生を対象に、二回実施した調査の結果について取り上げ、冒頭の目次に従い報告す

るが、中学生を対象とした調査結果と全体的な地域の課題に関する考察は後日、回を改めて発表する予定である。

II. 塩田地区・子どもをめぐる概況

1. 塩田地区——地域の概況

本調査研究の対象地域は、長野県上田市塩田地区である。上田市南西部の塩田平と呼ばれる小盆地で、南・西縁には中山性山地が連なっている。

塩田地区は、第二次大戦後までは純農村、水田では米麦二毛作が営まれ、一方では養蚕、蚕種製造も盛んな典型的な信州の農村であった。大地主は存在しなかったが、小地主が多く、一方貧しい小作農も多く、農民運動も活発であった。戦後の農地改革によって農民の自作農化が進んだが、平均50~60aという零細経営には変わりない。養蚕と裏作の麦作が衰退し、リンゴ、ブドウなどの果樹や薬用ニンジンの栽培が発展したが、零細経営のため専業農家としての自立は難しく、兼業農家が大部分をしめている。

工業の方は、戦後の高度成長期までは疎開してきた縫針工場がこの地域の農外労働力を吸収してきた。その後、自動車部品や電機機器の製造工場など、いくつかの中小企業、下請工場が進出し、また最近、東塩田地区には工場団地の造成が進められており、大きな変貌が予想される地域である。

上田市は東信地方の中核都市であり、中心部では人口のドーナツ化現象がみられる。塩田地区はその近郊にあたるため、市街地の隣接地域ほど住宅地化が進んでいる。その結果、塩田地区では1960年代には人口減少がみられたが1975年以降、人口は増加に転じている。それに伴って、塩田町の中心集落では日用品などの店舗も発展している。

中世の塩田平は北条氏の直轄地になったことから、ここには鎌倉・室町時代の文化財が数多く残されている。また塩田平の西端にある別所温泉は『枕草紙』に七久里の湯と記されている古い温泉場である。この別所温泉をはじめ塩田平には、前記のように中世の文化財が多いことから「信州の鎌倉」と呼ばれ、1960年代以降、多くの観光客を集めるようになった。この観光も塩田平の有力な地場産業に成長しつつある。

別所の温泉街、塩田町の商店街、また進出した工場企業の建物を除いた塩田地区は、緑の多い農村景観が維持されており、周辺の山地帯の豊かな自然とともに恵まれた居住環境を形成してきた。しかし、近年の観光ブームなどで乱開発の波が押し寄せており、自治会等の関係者を中心に「まちづくり」活動が活発化し、1983年5月、文化遺産の保護、風俗・景観の保持等を内容とした「塩田住民憲章」が制定された。また最近、上田近辺を開通予定の新幹線及び高速道からの影響が大きな関心事となっており、“塩田らしさ”を見据えた地域の発展構想が各種の住民組織・団体に模索されているところである。

次に、塩田地区の行政的な変遷を辿ってみると、1989(明治22)年の市町村制の施行にともない、東塩田・中塩田・西塩田・別所・富士山の5ヵ村(旧村)が成立した。戦後、そのうちの富士山が東塩田に合併し、4つの旧村は1959(昭和34)年に合併して塩田町となった。さらに1970(昭和45)年、塩田町は上田市に編入されて現在に至っている。

今日なお、塩田地区の地域単位として、この4旧村の範囲・名称が用いられており、その地区内住民の基本的な生活圏域を形成している。小学校も4地域にそれぞれ1ヵ所設置されており、中学校は塩田地区全体で1ヵ所である。そこでこれら4地域(小学校区)の生活圏域としての地域性を表1の人口(年齢三区分別)動向や関係資料により簡単に素描しておこう。

「中塩田」は塩田地区の中心部で道路・交通の便

良く、商店街・住宅地として発展している。75年以降、新来住者による人口増・混住化が著しく進んでいる。就業構造も非農家のサラリーマンが多く、その他の地域に比べて生産年齢人口が突出している。また高齢人口が少なく、家族形態も二世代の核家族が多い。

「東塩田」と「西塩田」は、独こ山麓、塩田地区の東縁と西縁に位置し、古くからの農村地帯である。旧村以来の地付きの農家が多いが、大部分は兼業農家である。高齢人口比率が高く、三世代家族が多い。人口動向は横ばい状態であったが、工場・住宅地化の進む東塩田では最近、増加傾向をみせ、とくに年少人口比率が高まり注目される。

「別所」は古くからの温泉観光地であり、非農家・自営業が多い。常住人口は減少、高齢化の目立つ地域である。

2. 塩田地区小学校の校外生活をめぐる状況

ここではまず、塩田地区小学生の校外生活に関する規制についてとりあげる。それは、“きまり”として各小学校から生徒・家庭に向けて伝達する形をとるが、一方の家庭・保護者の側においてもPTAの組織等を通しておよそ了解・賛同を得ている。これにより小学生の学校外・地域生活の許容範囲、活動内容の大枠が決められており、本調査の質問項目、結果の分析とも密接に関わる事柄である。小学校別に具体的な箇所等で若干の相違はあるが、およそ放課後・休日、長期休暇期における校外生活のきまりとして、共通的な注意・禁止

表1 塩田地区における年齢別人口構成の推移

| | | 総 数 | 年 齢 (三区分別) | | |
|----------------------------|-------|----------------|--------------|---------------|--------------|
| | | | 0~14歳 | 15~64歳 | 65歳以上 |
| 年 次 別 | 1965年 | 16,123 (100.0) | 3,866 (24.0) | 10,754 (66.7) | 1,503 (9.3) |
| | 1983年 | 18,350 (100.0) | 3,951 (21.5) | 11,791 (64.3) | 2,608 (14.2) |
| | 1990年 | 19,159 (100.0) | 3,460 (18.1) | 12,459 (65.0) | 3,240 (16.9) |
| 一 九 九 〇 年 別 | 中塩田 | 8,919 (100.0) | 1,641 (18.4) | 6,050 (67.8) | 1,228 (13.8) |
| | 東塩田 | 5,261 (100.0) | 1,008 (19.2) | 3,296 (62.6) | 957 (18.2) |
| | 西塩田 | 3,140 (100.0) | 541 (17.2) | 1,955 (62.3) | 644 (20.5) |
| | 別 所 | 1,839 (100.0) | 270 (14.7) | 1,158 (63.0) | 411 (22.3) |

注：1965、1990年は国勢調査、1983年は上田市調査資料により作成。()内は構成比：%。

表2 塩田地区小学校別児童数の推移

| 年次 | 総 数 | | 中塩田小 | | 東塩田小 | | 西塩田小 | | 別 所 小 | |
|------|-------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|
| | 児童数 | 指 数 | 児童数 | 指 数 | 児童数 | 指 数 | 児童数 | 指 数 | 児童数 | 指 数 |
| 1960 | 2,118 | 100 | 608 | 100 | 730 | 100 | 539 | 100 | 241 | 100 |
| '65 | 1,534 | 72 | 497 | 82 | 483 | 66 | 354 | 66 | 200 | 83 |
| '70 | 1,402 | 66 | 570 | 94 | 364 | 50 | 301 | 56 | 167 | 69 |
| '75 | 1,415 | 67 | 638 | 105 | 330 | 45 | 256 | 48 | 191 | 79 |
| '80 | 1,604 | 76 | 768 | 126 | 387 | 53 | 281 | 52 | 168 | 70 |
| '83 | 1,709 | 81 | 836 | 138 | 412 | 56 | 295 | 55 | 166 | 69 |
| '87 | 1,641 | 78 | 778 | 128 | 451 | 62 | 261 | 48 | 151 | 63 |
| '91 | 1,401 | 66 | 630 | 104 | 446 | 61 | 219 | 41 | 106 | 44 |
| | (100) | | (45.0) | | (31.8) | | (15.6) | | (7.6) | |

注：長野県教育委員会「教育要覧」より作成、各年5月1日現在。()内は構成比：%

事項が盛り込まれている。以下にその大枠的な内容について紹介しておこう。

平日の登・下校は、およそ集落(自治会)毎に通学路が指定されており、朝の登校時には集団登校を原則としている。

放課後、各小学校の校庭で遊んでいてもよいが、その時間について夏は4時30分、冬は4時までと決められている。

外出した場合、夕方の帰宅時刻の限度は、夏が6時、冬は4時まで。東塩田小学校では春・秋がその中間の5時、また同校区内にある児童館利用者は別枠で少し遅い時刻(冬5時その他6時)が設定されている。

子供たちだけで外出が許される範囲は当該学区内が原則。中塩田小・東塩田小の高学年生は親の許可があれば学区外の塩田地区内なら許される。

学区外への外出は大人同伴が原則。但し定期的な通塾等の場合は届け出れば子どもだけでもよい。

自転車に乗って外出が許される範囲も原則学区内だが、車の往來の激しい県道やバス道路、峠道は禁止。また二人乗りや片手ハンドルの禁止、ヘルメット着用など各小学校では自転車の乗車指導と危険防止に力を入れている。

学区内の危険箇所、要注意箇所については、PTA主導で点検・指定されている。また立ち入り禁止の場所としては、共通してゲームコーナーがあげられ、この他ではパチンコ店、喫茶店(西塩田小)、公民館、駅等の公共建物(中塩田小)などである。

夏休み・冬休み等の長期休暇期においてはさらに細かに取り決めがされている。とくに夏休みの水泳・釣りは近くの川・池が禁止、プールに限られ、冬のスケートも場所が限られる等、予想外に規制・禁止項目が多い。花火は許可日のみで危険な遊びとしてとくに作り替え禁止。また東塩田小学校では最近、自転車に乗れる場所について県道禁止の他は「おうちの人とそうだんして決める」としており、一律的なきまりを修正した。

次に塩田地域における子育て関連施設・組織・活動の状況を概略的に記しておこう。

小学生対象の校外の組織としては、まず各小学校PTA支部運営の「児童会」が塩田全域に自治会単位で組織されている。また地域児童一般の健全育成を掲げる「育成会」がやはり自治会単位で組織化され、上田市より活動費助成がされている。その活動展開では小・中学校のPTA支部活動と重なりやすく、春・夏・冬の長期休みを中心に一定の行事が計画・実施されている。その他の自主的な子ども集団・組織として「塩田冒険クラブ」(83年当時)や「こども劇場」の塩田地区グループなどがあげられる。

塩田地区小学生の校外施設としては、健全育成目的の児童福祉施設である児童館が東塩田小学校校区に1ヵ所、1990年4月より開設され、鍵っ子対策としても利用されている。

また法外の放課後施設として普及途上の学童保育(所)は未設置である。民間経営の塾はピアノ、算盤、書道を始め英語・数学等の学習塾、スポー

表3 塩田地区小学校・学年別配布・回収状況

| | 年 度 | 総 数 | | | 中塩田小 | | | 東塩田小 | | | 西塩田小 | | | 別 所 小 | | |
|------------|--------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| | | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 |
| 配布数 | '83 | 220 | 198 | 418 | 75 | 69 | 144 | 60 | 63 | 123 | 56 | 46 | 102 | 29 | 20 | 49 |
| | '91 | 212 | 262 | 474 | 95 | 123 | 218 | 70 | 66 | 136 | 33 | 48 | 81 | 14 | 25 | 39 |
| 回収数 | '83 | 216 | 190 | 406 | 75 | 65 | 140 | 60 | 60 | 120 | 53 | 45 | 98 | 28 | 20 | 48 |
| | '91 | 177 | 242 | 419 | 90 | 117 | 207 | 43 | 58 | 101 | 30 | 42 | 72 | 14 | 25 | 39 |
| 回収率 (%) | '83 | 98.2 | 98.0 | 97.1 | 100.0 | 94.2 | 97.2 | 100.0 | 95.2 | 97.6 | 94.6 | 97.8 | 96.1 | 96.6 | 100.0 | 97.9 |
| | '91 | 89.4 | 93.8 | 88.4 | 94.7 | 95.1 | 94.9 | 61.4 | 87.9 | 74.3 | 90.9 | 87.5 | 88.9 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

ツ教室等も開かれている。

III. 調査結果の分析

1. 調査の概要と分析の枠組み

1) 調査対象者の抽出、調査方法、調査時期、回収状況

1983年度、91年度とも塩田地区内4小学校に在籍する小学生のうち、低学年を代表して3年生、高学年を代表して6年生を調査対象に選び、各小学校のクラス担任経由で調査票の配布及び回収をした。但し83年度は児童数過大の中塩田小学校に限り1/2(各4クラス中の2クラス)抽出とした。調査時期は83年度が10月内、91年度は9月内である。

本調査の配布・回収状況は表3に示してある。回収率は83年度が97.1%、91年度が88.1%であり、分析対象となる有効票(サンプル)の数は83年度406、91年度419である。

2) 調査項目の概要と分析の枠組・視点

調査項目については後掲の調査票に示されているが、概括的な柱をたてて整理してみると、(1)基本的属性に関する項目、(2)ふだんの遊びをめぐる実態と意識・態度に関する項目、(3)ファミコンやゲーム機あそびの実態、(4)平日の生活時間と日曜日の過ごし方に関する項目、(5)子ども会活動に関する項目、(6)塾・スポーツ教室に関する項目、(7)校外生活でのきまり(規制)認知に関する項目、(8)家族・近隣者との触れ合い状況に関する項目となる。

以下の分析では上記の項目の順に、91年調査の

結果を中心に現状について分析し、また前回(83年)調査結果との比較を行い、この間の動向に関して考察をすすめる。但し、(3)ファミコンやゲーム機あそびの実態に関しては、今回の91年度調査で新たに取上げた項目であり、前回との比較・動向については触れることができない。また質問項目のうち、若干の項目については分析を省略している。

本調査の分析上の枠組としては、学年(3・6年)男・女別、小学校=地区(中塩田・東塩田・西塩田・別所)別を基礎的に用いる。

「学年」の枠組を用いることにより、小学生期にみられる成長・発達課程(年齢)別の差異性に関して、およそ低年齢児を3年生に、高年齢児を6年生に代表させて二段階の発達の差異・特徴を見届けてゆきたい。またこの期の生活行動や意識における男・女児別の差異・特徴も見逃せず、性別の枠組を用いることにする。

塩田地区小学生の校外生活における基礎的な活動範囲は、先述の小学校別「きまり」からも明らかかなように、小学校区単位の地域である。しかも小学校が放課後生活に関して今日、直接・間接的に指導・関与していることからして小学校区を範囲とする地域を取り上げることは、結果の分析及び地域の課題を考察するうえで不可欠な枠組となるであろう。

2. 調査対象者の基本的属性

本調査の対象者が小学校児童であることから、基本的属性に関しては、小学校・学年・性別及び家族構成・同胞構成に限られるが、これらの項目を分析することによって塩田地区の小学校児童の

表4 調査対象の属性—小学校別、学年・男女別児童数

()内は構成比：%

| | | 総 数 | | | 中塩田小 | | | 東塩田小 | | | 西塩田小 | | | 別 所 小 | | |
|--------------------|---|--------------|-----|-----|---------------|----|-----|---------------|----|----|--------------|----|----|--------------|----|----|
| | | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 | 計 | 3年 | 6年 |
| '83 年 調 査 | 計 | 406 (100) | 216 | 190 | 140 (34.5) | 75 | 65 | 120 (29.6) | 60 | 60 | 98 (24.1) | 53 | 45 | 48 (11.8) | 28 | 20 |
| | 男 | 218 | 113 | 105 | 71 | 37 | 34 | 73 | 34 | 39 | 55 | 31 | 24 | 19 | 11 | 8 |
| | 女 | 188 | 103 | 85 | 69 | 38 | 31 | 47 | 26 | 21 | 43 | 22 | 21 | 29 | 17 | 12 |
| '91 年 調 査 | 計 | 419 (100) | 177 | 242 | 207 (49.4) | 90 | 117 | 101 (24.1) | 43 | 58 | 72 (17.2) | 30 | 42 | 39 (9.3) | 14 | 25 |
| | 男 | 214 | 91 | 123 | 109 | 55 | 54 | 52 | 19 | 33 | 31 | 9 | 22 | 22 | 8 | 14 |
| | 女 | 205 | 86 | 119 | 98 | 35 | 63 | 49 | 24 | 25 | 41 | 21 | 20 | 17 | 6 | 11 |

概略的な属性の特徴を明らかにしていきたい。

表4には小学校、学年・性別に児童数・構成比(小学校別のみ)を示してある。

小学校別の人数・構成比をみると、表2でみておいたように塩田地区の全児童の半数近くを占めていた中塩田小学校では、91年度は全体の約半数(49.4%)であるが、前回の83年度はサンプル数を2分の1抽出としたため、34.5%と低くなる。また91年度の東塩田小学校は24.1%、西塩田小学校17.2%、別所小学校9.3%である。母集団の構成比(表2)と比べてみると、91年度に関してはおよそ近似の数値がみてとれよう。このことから調査対象者の約半数が中塩田地域(小学校区)に居住しており、4分の1弱が東塩田地域に、残りの4分の1余が西塩田及び別所地域に居住し、それぞれ校外生活の活動範囲としていることがわかるのである。

学年(3・6年)別にみてゆくと、83年度は全体に3年生の児童数が6年生を26人上まわっているが、91年度には反対に6年生が3年生を65人も上回っている。こうした傾向の背景には83年度が75年以降の児童数増加のピーク期(表2)で、低学年児の増加となり、91年度はその後の減少傾向から、逆に低学年児の減少を招いていることが判るのである。

男女別の構成特徴では、両年度、両学年とも男子の人数が女子の人数を上回っている。学校別にもほとんど同様だが、西塩田小学校の91年度、別所小学校の83年度は逆に女子が男子を上回っている。

次に表5で家族構成・同胞関係についてみてゆこう。

まず、家族構成をみると、全体的に、この間に親と子の二世世代家族が20ポイントも増えており、反対に祖父母同居の三世世代家族は13ポイント減少している。二世世代家族の内訳は、両親と子が圧倒的多数であるが、父と子、母と子の単親家庭も僅少数だが増えている。三世世代家族は、祖父母の両方あるいはそのいずれか片方との同居の組み合わせであるが、当然、両親と子に祖父母同居のタイプが圧倒的多数である。なお単親家庭の祖父母同居タイプはとくに増加せず減少傾向をみせている。

地区別にみてゆくと、中塩田、東塩田では上記の傾向が顕著にみられるが、西塩田、別所では二世世代の核家族化がそれほど進まず、三世世代家族の占める割合が比較的高い状態で経過している。

同胞関係に移ると、この間の構成比では全体的にほとんど変化が見られない点が特徴としてあげられる。項目別に、「本人ひとり」の一人っ子は全体の5%台で動かず「上に兄・姉あり」が3割台から4割台へ増加、「下に弟・妹あり」が3割台だが減少傾向をみせ、「上と下にあり」は2割台で横ばい状態である。地区別にみても全体傾向と同様の比率・数値が並んでおり、とくに目新しい事態は認められない。

3. 日頃の遊びをめぐる実態と動向

1) 日常の遊びに関する態度とその理由

ここでは小学生の校外生活の中軸をなす遊びに關して、塩田地区の小学生はどのような態度で臨

表5 調査対象の属性—家族構成と同胞関係

| | | 総 数 | | | | 中 塩 田 | | | | 東 塩 田 | | | | 西 塩 田 | | | | 別 所 | | | |
|------------------|----------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|
| | | '83 年 | | '91 | | '83 年 | | '91 | | '83 年 | | '91 | | '83 年 | | '91 | | '83 年 | | '91 | |
| | | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 |
| サ ン プ ル 数 | | 406 | 100.0 | 419 | 100.0 | 140 | 100.0 | 207 | 100.0 | 120 | 100.0 | 101 | 100.0 | 98 | 100.0 | 72 | 100.0 | 48 | 100.0 | 39 | 100.0 |
| 家 族 構 成 | 二世世代家族 | 100 | 24.6 | 188 | 44.9 | 46 | 32.9 | 114 | 55.1 | 19 | 15.8 | 43 | 42.6 | 19 | 19.4 | 18 | 25.0 | 16 | 33.3 | 13 | 33.3 |
| | { A 両親と子 | 91 | | 175 | | 43 | | 105 | | 16 | | 41 | | 16 | | 17 | | 16 | | 12 | |
| | { B 父と子 | — | | 1 | | — | | 1 | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| | { C 母と子 | 9 | | 12 | | 3 | | 8 | | 3 | | 2 | | 3 | | 1 | | — | | 1 | |
| | 三世世代家族 | 273 | 67.2 | 228 | 54.4 | 86 | 61.4 | 91 | 44.0 | 89 | 74.2 | 58 | 57.4 | 73 | 74.5 | 53 | 73.6 | 25 | 52.0 | 26 | 66.7 |
| | { 祖父母とA | 257 | | 216 | | 81 | | 87 | | 84 | | 57 | | 69 | | 49 | | 23 | | 23 | |
| | { 祖父母とB | 5 | | 2 | | 2 | | — | | — | | — | | 3 | | 2 | | — | | — | |
| | { 祖父母とC | 11 | | 10 | | 3 | | 4 | | 5 | | 1 | | 1 | | 2 | | 2 | | 3 | |
| 不 明 | 33 | 8.1 | 3 | 0.7 | 8 | 5.7 | 2 | 1.0 | 12 | 10.0 | — | — | 6 | 16.1 | 1 | 1.4 | 7 | 14.6 | — | — | |
| 同 胞 関 係 | 本 人 一 人 | 18 | 4.4 | 20 | 4.8 | 6 | 4.3 | 12 | 5.8 | 6 | 5.0 | 3 | 3.0 | 5 | 5.1 | 3 | 4.2 | 1 | 2.1 | 2 | 5.1 |
| | 上に兄・姉あり | 133 | 32.8 | 181 | 43.2 | 51 | 36.4 | 91 | 44.0 | 35 | 29.2 | 45 | 44.6 | 33 | 33.7 | 29 | 40.3 | 15 | 31.3 | 16 | 41.0 |
| | 下に弟・妹あり | 136 | 33.5 | 129 | 30.8 | 49 | 35.0 | 63 | 30.4 | 40 | 33.3 | 31 | 30.7 | 31 | 31.6 | 23 | 32.0 | 15 | 31.3 | 12 | 30.8 |
| | 上と下にあり | 84 | 20.7 | 86 | 20.5 | 26 | 18.6 | 39 | 18.8 | 27 | 22.5 | 22 | 21.8 | 21 | 21.4 | 16 | 22.2 | 10 | 20.8 | 9 | 23.1 |
| | その他・不明 | 35 | 8.6 | 3 | 0.7 | 8 | 5.7 | 2 | 1.0 | 12 | 10.0 | — | — | 8 | 8.2 | 1 | 1.4 | 7 | 14.6 | — | — |

注：「祖父母」の内訳は、祖父と祖母の両方及び祖父、祖母のいずれかを含んでいる。

「上に兄・姉あり」は、兄と姉の両方及び兄、姉のいずれかを含んでいる。

「下に弟・妹あり」も同様に三通りの回答肢を包含している。

桜田百合子 上田市塩田地区における小学生の校外生活をめぐる現状と動向
—1983、1991年の調査結果をもとに(その1)—

表6 あなたは普段の放課後よく遊んでいますか

回答者比率：%、()内は実数

| | 総数 | | 学 年 ・ 性 別 | | | | | | | | 小 学 校 区 別 | | | | | | | |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 3 年 | | | | 6 年 | | | | 中 塩 田 | | 東 塩 田 | | 西 塩 田 | | 別 所 | |
| | | | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | | | | | | | | |
| 調 査 年 度 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| サ ン プ ル 数 | 100.0 (406) | 100.0 (419) | 100.0 (113) | 100.0 (91) | 100.0 (103) | 100.0 (86) | 100.0 (105) | 100.0 (123) | 100.0 (85) | 100.0 (119) | 100.0 (140) | 100.0 (207) | 100.0 (120) | 100.0 (101) | 100.0 (98) | 100.0 (72) | 100.0 (48) | 100.0 (39) |
| 仲 間 を 誘 っ て 遊 ぶ | 44.8 | 43.0 | 52.2 | 48.4 | 39.8 | 45.3 | 45.7 | 53.7 | 40.0 | 26.1 | 38.6 | 39.8 | 48.3 | 50.5 | 50.0 | 37.1 | 43.8 | 53.8 |
| 誘 わ れ て 気 が 向 け ば 遊 ぶ | 23.2 | 26.0 | 24.8 | 23.1 | 20.4 | 18.6 | 21.9 | 27.6 | 25.9 | 31.9 | 24.3 | 28.6 | 23.3 | 21.8 | 19.4 | 22.9 | 27.0 | 30.8 |
| 勉 強 や 塾 な どの 合 間 に 遊 ぶ | 5.2 | 4.5 | 3.5 | 5.5 | 7.8 | 3.5 | 3.8 | 2.4 | 5.9 | 6.7 | 3.6 | 4.4 | 7.5 | 2.0 | 7.1 | 7.1 | 18.8 | 7.7 |
| 一 人 で 気 ま ま に 遊 ぶ | 13.8 | 12.3 | 8.8 | 12.1 | 18.4 | 8.1 | 19.0 | 8.9 | 8.2 | 11.8 | 15.7 | 9.7 | 11.7 | 7.9 | 11.2 | 18.6 | 6.3 | 5.1 |
| ほ と ん ど 遊 ば な い | 12.0 | 15.2 | 7.7 | 11.0 | 13.6 | 23.3 | 8.6 | 5.7 | 17.6 | 23.5 | 17.9 | 17.5 | 8.3 | 17.8 | 11.2 | 14.3 | 4.2 | 2.6 |
| 回 答 な し | 1.0 | 0.7 | 0.9 | — | — | 1.2 | 0.9 | 1.6 | 2.4 | — | — | 0.5 | — | — | 1.0 | 4.8 | — | — |

表7 普段の遊びで次のようなことがありますか？ (複数回答)

回答者比率：%、()内は実数

| | 総数 | | 学 年 ・ 性 別 | | | | | | | | 小 学 校 区 別 | | | | | | | |
|---------------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 3 年 | | | | 6 年 | | | | 中 塩 田 | | 東 塩 田 | | 西 塩 田 | | 別 所 | |
| | | | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | 男 子 | 女 子 | | | | | | | | |
| 調 査 年 度 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| サ ン プ ル 数 | 100.0 (406) | 100.0 (419) | 100.0 (113) | 100.0 (91) | 100.0 (103) | 100.0 (86) | 100.0 (105) | 100.0 (123) | 100.0 (85) | 100.0 (119) | 100.0 (140) | 100.0 (207) | 100.0 (120) | 100.0 (101) | 100.0 (98) | 100.0 (72) | 100.0 (48) | 100.0 (39) |
| 好 き な 遊 び の で き る 場 所 が 少 な い | 60.1 | 44.2 | 61.9 | 48.4 | 57.2 | 43.0 | 56.2 | 38.2 | 65.9 | 47.9 | 58.6 | 41.5 | 61.7 | 49.5 | 62.2 | 48.6 | 56.3 | 35.9 |
| 遊 ぶ 時 間 が 足 り な い | 42.6 | 44.6 | 34.5 | 36.3 | 36.7 | 26.7 | 48.6 | 54.5 | 49.4 | 53.8 | 52.1 | 51.7 | 25.2 | 39.6 | 48.0 | 34.7 | 39.6 | 38.5 |
| 気 の 合 う 遊 び 仲 間 が い な い | 16.0 | 7.2 | 15.9 | 7.7 | 21.6 | 15.1 | 8.6 | 3.3 | 31.8 | 5.0 | 15.7 | 5.3 | 13.3 | 11.9 | 20.7 | 5.6 | 37.5 | 27.7 |
| 家 に 帰 っ て か ら 遊 び た い と 思 わ な い | 17.2 | 21.0 | 8.8 | 19.8 | 19.4 | 17.4 | 12.2 | 20.9 | 21.2 | 33.6 | 14.3 | 20.3 | 20.0 | 24.8 | 16.3 | 23.6 | 20.8 | 10.3 |
| 一 人 で 遊 ん で い た ほ う が 楽 し い | 5.4 | 6.7 | 2.7 | 5.5 | 6.8 | 8.1 | 8.6 | 2.4 | 3.5 | 10.9 | 4.3 | 4.8 | 3.3 | 7.9 | 4.1 | 13.9 | 16.7 | — |

み、それはまた、どのような理由付けによるのか、について概略的な把握を試みた。

質問紙には、まず「あなたは、普段の放課後よく遊んでいますか？」と質問し、表6で見られるような回答肢を用意して、日頃の遊びにおける態度を答えてもらった。さらに「普段の遊びで、次のようなことがありますか？」として今日、子どもの遊びを不活発にしている手段的・心理的理由として表7のような5項目を回答肢に掲げた。そしてこの設問に複数回答してもらうことにより、前問の回答状況を裏づける手掛かりが得られると考えられるのである。

まず、表6から普段の遊びに関する態度について全体的な回答状況をみてゆこう。

今回の91年度調査では「仲間を誘って遊ぶ」と答えたものが4割台で最も多く、次に「誘われて気が向けば遊ぶ」が2割台、「一人で気儘に遊ぶ」と「ほとんど遊ばない」が1割台で続き、「勉強や塾などの合間に遊ぶ」は僅少である。また、この間の動向をみてゆくと、大きな変化はないが、詳細にみると、「ほとんど遊ばない」と「誘われて気が向けば遊ぶ」が3.2、2.8ポイント増え、「一人で気儘に遊ぶ」と「仲間を誘って遊ぶ」が2.5、1.8ポイント減っている。小学生の校外生活の代表格といえる遊びは、塩田地区においても、およそ減退・消極的な傾向を辿り、推移していることが見てとれるのである。

次に、このような遊び態度を導いている理由について表7から手探りしておこう。

全体的にみて、「好きな遊びのできる場所が少ない」と「遊ぶ時間が足りない」が今回4割台で答えているが、前回に比べると「場所」の方が16ポイントも減少、「時間」の方は微増である。「気の合う仲間がいない」も今回1割未満で、前回比9ポイントも減少している。「家に帰ってから遊びたいと思わない」が2割台に達し、4ポイント増加。また「1人で遊んでいた方が楽しい」は1割未満の少数だが確実に増えている。こうした動向を前問における「ほとんど遊ばない」の増加等と重ね合わせるとき、今日、塩田地区において子どもたちの遊びを不活発にさせている理由・課題として、新たに遊びに対する意欲の低下をめぐる問題が浮上しているように思われる。

さらに学年・性別に遊び態度とその理由とを重ね合わせながら、この間の動向をみてゆくと、まず6年生の男子と女子では遊び態度・理由ともに対照的な変化が認められる。とくに6年女子は、「遊びたいと思わない」及び「一人の方が楽しい」が急増する反面で「仲間を誘って遊ぶ」が急減している。「ほとんど遊ばない」と「誘われて気が向けば」や「1人で気儘に」も確実に増えており、子どもらしい遊び態度から意欲喪失的・消極的な態度へ急傾斜している。したがってまた、「遊び場」や「遊び仲間」にかんする不満・期待もこの間、大幅な減退となっている。逆に6年男子の方は「遊びたいと思わない」及び「1人遊びの方が楽しい」が確実に減り、また「一人で気儘に遊ぶ」と「ほとんど遊ばない」の減となり、「仲間を誘って遊ぶ」の確実な増加をみている。「遊び場」への不満は急減するものの遊び時間不足を訴える者が増えており、全般に仲間・集団による積極的な遊びへの傾斜が読み取れるのである。

ところが3年生の男・女ではこの間、6年男・女とは異なる微妙な変化が認められる。つまり、3年男子は「遊びたいと思わない」が急増し、積極的な集団遊び傾向が弱まり、一人遊びや遊ばないものが増えている。女子の方は、一人遊びが大きく減り、「仲間を誘って遊ぶ」が増えている。その一方で遊び場、時間、仲間に関する不足・不満が減退し「ほとんど遊ばない」が大きく増えており、気になる動きをみせている。

さらに小学校区別に特徴的な変化をみてゆくと、中塩田小学校区ではこの間、「一人で気儘に」が減り、その分「仲間を誘って遊ぶ」の増とはならず「誘われて気が向けば」を増している。一方で「遊びたいと思わない」が増え、遊び場や仲間への不満は減退している。東塩田小学校区では「仲間を誘って遊ぶ」が微増し過半数に達するが、「ほとんど遊ばない」が大きく増え、「勉強や塾などの合間に遊ぶ」と「一人で気儘に遊ぶ」は減少傾向をみせている。その裏付けとして「遊びたいと思わない」と「一人遊びの方が楽しい」が増えており、遊び時間不足を訴える者が急増している。西塩田小学校区では「仲間を誘って遊ぶ」が激減しており、「一人で気儘に遊ぶ」が急増、「ほとんど遊ばない」と「誘われて気が向けば」も増えている。

その理由の方をみると、やはり「遊びたいと思わない」と「一人遊びの方が楽しい」が確実に増えており、遊び場、時間、仲間に関する不足・不満が一斉に減退している。別所小学校区では「仲間を誘って遊ぶ」が激増、過半数に達している。反対に「勉強や塾などの合間に遊ぶ」が激減している。これを裏付ける理由をみると「遊びたいと思わない」と「一人遊びの方が楽しい」が大きく減り、遊び場・仲間に関する不足・不満も大幅に減っている。

2) 日頃よくする遊び——屋内・屋外別(複数回答)

「あなたが普段よくする遊びは何ですか?」と質問し、回答は屋内・屋外の別に、三つの回答欄を用意し自由記入してもらった。

まず、回答状況についてとくに注目点を記しておく、今回の91年調査では無記入(N.A.)が「屋内遊び」で64人(15.3%)、「屋外遊び」で54人(12.9%)を数え、前回の83年調査(8.1%、4.7%)に比べて大幅に増えている。また回答合計数では、室内・屋内とも今回が前回比200余も下回り、回答記入者一人当たりの回答数も前回は2.1、今回は1.6で大きく落ち込んでいる。このように無記入者が増え、回答の記入数も減っていることは、この間において小学生の遊び一般が減退・消極的に推移していることを示唆しているように思われる。

室内遊びについてみてゆこう。表8には「室内でよくする遊び」として回答記入されたものを各年度、種類別に整理し、回答比率の高い順に掲示してある。

全体的な動向をみてゆくと、回答者全体の5%以上がよくする遊びと答えてるものが83年度には合計12種類であるが、8年後の91年には6種類と半減している。この間に5%以下に落ち込んだものは、プラモデル・工作、TV/ラジオ視聴、かくれんぼ、すもう・プロレス、ままごと・ごっこ遊び、室内球技の6種類。およそ手先や身体全体を使い、熱中することで達成感・連帯感を味わえる伝統的な遊びが消えていっているのである。また前回第1位の「ゲーム」の内容も当時、室内ゲームとして流行していたオセロゲーム等で、子供の手で動かすマイペースの遊びである。そしてこのゲ

ームを代表するオセロゲームは今回の回答集計では10人未満で消え去っている。それに比べて今回第1位の「ファミコン・TVゲーム」は電動式、コンピューター・ソフトの電子回路が主導する遊びである。今日、塩田地区の小学生の半数近くがこのファミコン・TVゲームに熱中しており、その他ではトランプのようなカードゲーム、本・漫画本を読む、絵・漫画を描く、と続き、人形・着せ替えごっこが下位に顔をみせている。

さらに同表から「学年・性別」に特徴点をみておくと、回答者全体の5%以上がよくする遊びと答えてるものが「3年男子」は前回、9種類を数えていたが、今回は5種類で、大多数がファミコン・TVゲームに熱中している。その他ではトランプ・カードゲームが続き、前回、上位を占めたプラモデル・工作、すもう・プロレス、室内球技等が消え去っている。それに比べて「3年女子」は、今回も前回とほとんど近似で、人形、ままごとを先頭にしてバラエティに富んだ室内遊びが掲げられている。しかしまた、この間に室内ゲームに変わってファミコン・TVゲームが登場し、かくれんぼが消えてしまった。

「6年男子」では、やはり大多数がファミコン・TVゲームに熱中している。その他ではトランプ・カードゲームと漫画や本を読む、があがり、プラモデル・工作、TV/ラジオ視聴、すもう・プロレスは姿を消している。6年女子ではトランプ・カードゲームがファミコン・TVゲームを抜いて一位の座に着き、その他では本や漫画を読む、である。6年生は全体的に室内ではゲームと読書の2種類に収斂させて経過してきている。

以上で見てきたように、今日、室内遊びの首位は圧倒的にファミコン・TVゲームで、塩田地区の大多数の小学生もこれに熱中している。そこで、今回調査の質問紙には、この点に留意してファミコンやその他のゲーム機に関する項目を新設し、ゲーム機の所有状態とこれらで遊ぶ頻度・時間の実態について質問してみた。以下にその回答状況を報告しておくたい。

まず、ファミコンやその他のゲーム機の所有状態に関しては、表9で見られるように、何らかのゲーム機を持っていると答えたものが全体の8割、反対に持っていないとするものが2割弱である。

表 8 室内の遊びの順位—学年・性別（複数回答）

（ ）内は回答者比率：%

| 順位 | 総 数 | | 3 年 男 子 | | 3 年 女 子 | | 6 年 男 子 | | 6 年 女 子 | |
|----|---------------------------|----------------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| 1 | ゲ ー ム (45.8) | ファミコン・ テレビゲーム (44.8) | ゲ ー ム (43.3) | ファミコン・ テレビゲーム (68.9) | ゲ ー ム (34.0) | 人形着せかえ (23.6) | ゲ ー ム (58.1) | ファミコン・ テレビゲーム (62.4) | ゲ ー ム (48.2) | トランプ・ カード (49.0) |
| 2 | トランプ・ カードゲーム (16.4) | トランプ・ カードゲーム (27.9) | プラモデル 工 作 (26.9) | トランプ・ カードゲーム (16.2) | 人形着せかえ (22.3) | ま ま ご と (22.2) | プラモデル 工 作 (24.7) | トランプ・ カード (20.5) | 絵 を 描 く (24.1) | ファミコン・ テレビゲーム (22.5) |
| 3 | プラモデル 工 作 (15.8) | 本 を 読 む (13.5) | 相 撲・ プロレス (13.5) | 漫画を読む (6.8) | ま ま ご と (18.1) | トランプ・ カード (18.0) | TV・ラジオ 視 聴 (20.4) | 漫画を読む (14.5) | 漫画を読む (22.9) | 本 を 読 む (22.5) |
| 4 | 本 を 読 む (11.8) | 漫画を読む (11.8) | 室内球技 (11.5) | プラモデル 工 作 (6.8) | 絵 を 描 く (17.0) | ファミコン・ テレビゲーム (16.7) | トランプ・ カード (20.4) | 本 を 読 む (8.5) | トランプ・ カード (22.9) | 漫画を読む (16.6) |
| 5 | 絵や漫画を 描 く (11.5) | 絵・漫画を 描 く (7.0) | 本 を 読 む (10.6) | 本 を 読 む (5.4) | トランプ (13.8) | 絵 を 描 く (15.3) | 漫画を読む (16.1) | プラモデル 工 作 (6.8) | 本 を 読 む (14.5) | 漫画を描く (8.8) |
| 6 | TV・ラジオ 視 聴 (9.7) | 人形着せ替え (5.6) | トランプ (9.6) | 漫画を描く (4.0) | かくれんぼ (12.8) | 本 を 読 む (15.3) | 本 を 読 む (11.8) | 漫画を描く (1.7) | TV・ラジオ 視 聴 (12.0) | プラモデル 工 作 (2.0) |
| 7 | 漫画を読む (9.4) | ま ま ご と (4.5) | かくれんぼ (8.7) | | 本 を 読 む (10.6) | 漫画を読む (4.2) | 相 撲・ プロレス (10.8) | | 楽 器・ レコード (12.0) | 人形着せかえ (2.0) |
| 8 | かくれんぼ (7.5) | プラモデル 工 作 (4.2) | 積み木・ ブロック (7.7) | | プラモデル 工 作 (7.4) | | 室内球技 (4.3) | | おしゃべり (9.6) | |
| 9 | 相 撲・ プロレス (7.5) | | ま ま ご と (5.8) | | 積み木・ ブロック (7.4) | | | | かくれんぼ (6.6) | |
| 10 | ま ま ご と (6.4) | | TV・ラジオ 視 聴 (4.8) | | 楽器・レコード (5.3) | | | | 手 芸 (4.8) | |

表9 ファミコン・ゲームなど所有状況と遊ぶ頻度・時間(1991年調査)

回答比率：%、()内は実数

| | | 総 数 | | 3 年 | | | | 6 年 | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | | | | 男 子 | | 女 子 | | 男 子 | | 女 子 | |
| 所有 状 況 | サ ン プ ル 数 | 100.0 (414) | | 100.0 (90) | | 100.0 (86) | | 100.0 (122) | | 100.0 (118) | |
| | 持 っ て い る | 81.6 | 100.0 | 92.3 | 100.0 | 61.9 | 100.0 | 92.6 | 100.0 | 76.3 | 100.0 |
| | 機 種 別 (Δ) | | | | | | | | | | |
| | ファミコン | 60.1 | 73.9 | 63.3 | 68.7 | 40.5 | 65.4 | 74.6 | 85.5 | 56.8 | 74.4 |
| | スーパーファミコン | 15.5 | 19.0 | 16.7 | 18.1 | 8.3 | 13.5 | 21.3 | 23.0 | 13.6 | 17.8 |
| その他ゲーム機 | 49.6 | 60.2 | 54.4 | 59.0 | 33.3 | 53.8 | 66.4 | 71.7 | 38.1 | 50.0 | |
| | 持 っ て い ない | 18.4 | | 7.7 | | 38.1 | | 7.4 | | 23.7 | |
| 遊 ぶ 頻 度 ・ 時 間 | サ ン プ ル 数 | 100.0 (391) | | 100.0 (87) | | 100.0 (79) | | 100.0 (121) | | 100.0 (104) | |
| | 毎 日 や る | 41.7 | 100.0 | 66.6 | 100.0 | 41.8 | 100.0 | 43.0 | 100.0 | 19.2 | 100.0 |
| | 時 間 状 況 | | | | | | | | | | |
| | 30分以内 | 13.3 | 31.9 | 14.9 | 22.4 | 26.6 | 72.7 | 6.6 | 15.4 | 9.6 | 50.0 |
| | ～1時間 | 16.1 | 38.7 | 31.0 | 46.6 | 10.1 | 24.2 | 16.5 | 38.5 | 7.6 | 40.0 |
| | ～2時間 | 9.0 | 21.5 | 13.8 | 20.7 | 1.3 | 3.0 | 16.5 | 38.5 | 1.9 | 10.0 |
| | ～3時間 | 3.3 | 8.0 | 6.9 | 10.3 | 3.8 | 9.1 | 3.3 | 7.7 | — | — |
| | 毎日はやらない | 48.8 | | 29.9 | | 43.0 | | 52.9 | | 64.4 | |
| | 全くやらない | 9.5 | | 3.4 | | 15.2 | | 4.1 | | 16.5 | |

(注) サンプル数の()内には、回答なしおよび不明のものを除外して集計した。

持っているゲーム機の機種別では、「ファミコン」については「持っている」者のうちの7割余が、また「その他のゲーム機」は同じく6割が持っている。「スーパーファミコン」は高価な機種のせいか2割未満である。学年・性別には、3年と6年の男子ではその9割方が何らかのゲーム機を所有しているが、6年女子は8割に及ばず、4人中の3人となる。3年女子は6割で低く、持っていないと答えた者が4割近くである。機種別には、6年男子がそれぞれで一段と高い所有率を示している。なお、小学校区別には特に注目点が見当たらないので、表示は省略する。

次に、ファミコンやその他のゲーム機の所有・非所有とは無関係に、これらのゲーム機で遊ぶ頻度と時間に関する回答状況について同表でみてゆこう。まず「毎日遊んでいる」と答えた者が全体の4割弱、「毎日はやらない」とするものは5割近く、「全くやらない」と答えたものは1割未満である。また毎日遊んでいると答えた者の時間の内訳をみてゆくと、1時間以内と30分以内とでそのう

ちの7割方を占めており、1時間以上、3時間以内が残りの3割である。学年・性別には、3年男子は毎日遊んでいると答えた者が6割以上で抜群に高いが、時間の方は30分以内を含めて1時間以内に7割方が入っている。3年女子は毎日が4割弱で男子に比べて少なく、時間も30分以内に7割方が入る。6年男子では過半数が「毎日はやらない」と答え、「毎日」の4割余の時間の内訳は1時間以内と以上にそれぞれ4割となっている。6年女子では「毎日はやらない」とするものが6割に近く、「毎日」が2割未満で、その時間も30分以内に半数が入る。また「全くやらない」と答えたものが3年女子とともに1割を越えている。

さて、「屋外の遊び」に移ろう。

表10には、室内遊びの前表同様、回答比率の高い順に掲示してある。

全体的にみてゆくと、前回登場していて今回消えたものは、かくれんぼと鉄棒であり、反対に今回新登場したものは一輪車とバレーボール・ビーチバレーだが、その比率は5%以下で低い。また

表10 屋外の遊びの順位 (複数回答)

()内は回答者比率: %

| 順位 | 総数 | | 3年男子 | | 3年女子 | | 6年男子 | | 6年女子 | |
|----|-----------------------|------------------------|------------------|-----------------|-------------------------|-----------------------------------|------------------|-----------------|-------------------------|----------------------------------|
| | '83年 | '91年 | '83年 | '91年 | '83年 | '91年 | '83年 | '91年 | '83年 | '91年 |
| 1 | 野球 (31.3) | 野球 (27.7) | 野球 (51.4) | サッカー (32.1) | 鬼ごっこ (35.4) | なわとび・ ゴムとび (34.7) | 野球 (57.6) | 野球 (72.5) | バドミントン (35.0) | ドッチボール (25.8) |
| 2 | ボール投げ (23.8) | ボール投げ (25.2) | ボール投げ (28.4) | ボール投げ (30.9) | なわとび・ ゴムとび (25.3) | ボール遊び (21.3) | ボール投げ (30.3) | サッカー (28.4) | ドッチボール (26.3) | バドミントン テニス (18.6) |
| 3 | 鬼ごっこ (19.9) | 自転車 (18.1) | 鬼ごっこ (19.3) | 自転車 (29.8) | ボール投げ (18.2) | 自転車 (18.7) | サッカー (29.3) | ボール投げ (20.2) | 自転車 (17.5) | ボール投げ (18.6) |
| 4 | 自転車 (16.3) | サッカー (16.7) | ドッチボール (16.5) | 野球 (21.4) | 鉄棒 (17.2) | 鬼ごっこ (16.0) | 自転車 (25.3) | 自転車 (10.1) | 鬼ごっこ (16.3) | 自転車 (16.5) |
| 5 | サッカー (14.7) | 鬼ごっこ (10.7) | サッカー (15.5) | 鬼ごっこ (11.9) | かくれんぼ (12.1) | 一輪車 (14.7) | ドッチボール (10.1) | 鬼ごっこ (6.4) | ボール投げ (16.3) | バレーボール (14.4) |
| 6 | ドッチボール (14.5) | ドッチボール (9.9) | かくれんぼ (14.6) | ドッチボール (7.1) | ブランコ・ 滑り台 (10.9) | 缶蹴り (14.7) | 鬼ごっこ (8.1) | キックベース (3.7) | かくれんぼ (11.3) | 鬼ごっこ (10.3) |
| 7 | バドミントン (11.4) | なわとび・ ゴムとび (9.3) | 自転車 (14.4) | 水遊び (4.8) | バドミントン (10.1) | かくれんぼ (10.7) | かくれんぼ (7.1) | ドッチボール (2.7) | なわとび・ ゴムとび (11.3) | 一輪車 (7.2) |
| 8 | かくれんぼ (11.4) | バドミントン テニス (7.4) | 動物と遊ぶ (4.6) | キックベース (3.6) | マラソン (10.1) | バドミントン テニス (10.7) | バドミントン (4.0) | 昆虫採集 (1.8) | サッカー (6.3) | なわとび・ ゴムとび (5.2) |
| 9 | なわとび ゴムとび (9.8) | 一輪車 (4.9) | マラソン (4.6) | 昆虫採集 (6.7) | 自転車 (8.1) | 昆虫採集 (6.7) | 鉄棒 (3.0) | 水遊び (1.8) | 動物と遊ぶ (5.0) | 野球 (4.1) |
| 10 | 鉄棒 (6.5) | バレーボール (4.6) | なわとび (3.7) | かくれんぼ (2.4) | 魚・虫と遊ぶ (7.1) | 水遊び ドッチボール バレーボール 各(2.7) | 魚・虫と遊ぶ (3.0) | 缶蹴り (1.8) | マラソン・ かけっこ (3.8) | 缶蹴り キックベース かくれんぼ 各(3.1) |

桜田百合子 上田市塩田地区における小学生の校外生活をめぐる現状と動向
— 1983年、1991年の調査結果をもとに(その1) —

表11 遊び場の順位 (複数回答)

()内は回答者比率: %

| 順位 | 総数 | | 3年男子 | | 3年女子 | | 6年男子 | | 6年女子 | | 中塩田 | | 東塩田 | | 西塩田 | | 別所 | |
|----|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| 1 | 家の庭 (34.0) | 家の中 (57.5) | 校庭 (38.9) | 家の中 (50.5) | 家の庭 (45.6) | 家の中 (59.3) | 校庭 (50.5) | 校庭 (56.9) | 家の中 (56.5) | 家の中 (65.5) | 家の中 (37.9) | 家の中 (55.6) | 家の中 (45.8) | 家の中 (60.4) | 家の中 (54.1) | 家の中 (63.9) | 家の中 (43.8) | 家の中 (48.7) |
| 2 | 家の中 (32.0) | 家の庭 (40.1) | 家の庭 (37.2) | 家の庭 (45.1) | 家の中 (37.9) | 家の庭 (58.1) | 家の中 (42.3) | 家の中 (53.7) | 家の庭 (43.5) | 校庭 (39.5) | 家の庭 (35.0) | 家の庭 (39.6) | 校庭 (37.5) | 校庭 (45.5) | 校庭 (52.0) | 家の庭 (52.8) | 駐車場 (22.9) | 友の 家の中 (48.7) |
| 3 | 校庭 (28.8) | 校庭 (35.1) | 友の 家の庭 (29.2) | 友の 家の中 (34.1) | 友の 家の庭 (27.2) | 友の 家の庭 (38.4) | 家の庭 (41.9) | 家の庭 (31.7) | 校庭 (36.5) | 友の 家の中 (33.6) | 校庭 (27.1) | 友の 家の中 (33.8) | 家の中 (36.7) | 家の庭 (34.7) | 家の中 (42.9) | 友の 家の中 (38.9) | 家の庭 (20.8) | 家の庭 (33.3) |
| 4 | 友の 家の庭 (20.6) | 友の 家の中 (32.7) | 家の中 (24.8) | 友の 家の庭 (25.3) | 友の 家の中 (23.3) | 友の 家の中 (34.9) | 友の 家の庭 (23.8) | 友の 家の中 (29.3) | 友の 家の中 (31.8) | 家の庭 (31.9) | 道路 (24.3) | 校庭 (33.8) | 友の 家の庭 (27.5) | 空地 (21.8) | 友の 家の庭 (38.8) | 友の 家の庭 (31.9) | 校庭 (18.8) | 友の 家の庭 (33.3) |
| 5 | 友の 家の中 (18.6) | 友の 家の庭 (22.2) | 道路 (20.4) | 校庭 (23.1) | 校庭 (15.5) | 空地 (17.4) | 道路 (23.8) | 空地 (17.1) | 道路 (23.5) | 道路 (25.2) | 友の 家の中 (20.0) | 道路 (19.8) | 友の 家の中 (18.3) | 友の 家の中 (19.8) | 友の 家の中 (34.7) | 校庭 (27.8) | 友の 家の中 (18.8) | 校庭 (23.2) |
| 6 | 道路 (16.4) | 道路 (19.1) | 友の 家の中 (18.6) | 社寺 (23.1) | 道路 (13.6) | 道路 (16.3) | 友の 家の中 (20.0) | 道路 (16.3) | 友の 家の庭 (20.0) | 友の 家の庭 (33.6) | 空地 (18.6) | 友の 家の庭 (17.4) | 道路 (18.3) | 友の 家の庭 (19.8) | 道路 (21.4) | 道路 (18.1) | 友の 家の庭 (14.6) | 道路 (23.1) |
| 7 | 社寺 (11.0) | 空地 (15.3) | 社寺 (18.6) | 空地 (18.7) | 空地 (10.7) | 校庭 (10.5) | 社寺 (16.2) | 友の 家の庭 (15.4) | 社寺 (8.2) | 空地 (9.2) | 友の 家の庭 (17.9) | 空地 (14.5) | 社寺 (13.3) | 道路 (16.8) | 社寺 (21.4) | 社寺 (9.7) | 道路 (10.4) | 駐車場 (20.5) |
| 8 | 空地 (9.6) | 社寺 (10.0) | 空地 (16.8) | 道路 (17.6) | 社寺 (9.7) | 社寺 (8.1) | 駐車場 (11.4) | 社寺 (6.5) | 空地 (8.2) | 社寺 (5.0) | 遊園地 (17.1) | 社寺 (14.0) | 空地 (10.8) | 社寺 (3.0) | 駐車場 (13.3) | 空地 (6.9) | 社寺 (4.2) | 空地 (17.9) |
| 9 | 駐車場 (7.4) | 駐車場 (4.8) | 遊園地 (16.8) | 遊園地 (6.6) | 遊園地 (9.7) | 遊園地 (7.0) | 空地 (10.5) | 駐車場 (3.3) | 駐車場 (7.1) | 駐車場 (4.2) | 社寺 (11.4) | 駐車場 (3.9) | 駐車場 (5.0) | 遊園地 (2.0) | 空地 (7.1) | 駐車場 (4.2) | 空地 (4.2) | 遊園地 (12.8) |
| 10 | 遊園地 (7.4) | 遊園地 (3.3) | 駐車場 (9.7) | 駐車場 (6.6) | 駐車場 (7.8) | 駐車場 (6.6) | 遊園地 (4.8) | 遊園地 (-) | 遊園地 (3.5) | 遊園地 (1.7) | 駐車場 (5.0) | 遊園地 (3.4) | 遊園地 (3.3) | 駐車場 (1.0) | 遊園地 (7.1) | 遊園地 (-) | 遊園地 (4.2) | 社寺 (7.7) |

両回の順位・比率を比べてみると、大きな変動は見当たらないが、鬼ごっことバドミントン、かくれんぼ、鉄棒の順位・比率が下がり、反対に自転車乗り、サッカーの順位・比率は上がっている。野球、ドッチボール、なわとび・ゴムとびの比率も低下しており、逆にキャッチボールのようなボール投げ・遊びの比率が伸びている。

学年・性別にみてゆくと、3年男子では、この間に前回5位のサッカーが1位に、また6位の自転車乗りが3位に急上昇している。反対に野球は1位から4位へ、鬼ごっこは3位から5位へ、ドッチボールとかくれんぼは順位を下げている。3年女子では、なわとび・ゴムとびが1位で伝統的な遊びが健在、また新たな遊びも加わりバラエティに富んでいる。この間にボール遊び、自転車、一輪車が登場し、鬼ごっこ、かくれんぼは順位を下げ、鉄棒、ブランコ滑り台は消え去った。

6年男子では4位まで前回と同種類で、野球、サッカー、ボール投げ、自転車乗りと続いており、ドッチボールの影が薄くなっている。6年女子ではバドミントン、ドッチボールが1位と2位を占めており、バレーボールが新たに登場。鬼ごっこ、かくれんぼ、なわとびは順位を下げたが、全体に男子とは異なる屋外の球技や遊びの世界が展開されていることがわかるのである。

3) 日頃の遊び場

「あなたが普段よく遊んでいる場所はどこですか？」と質問し、11表でみられるような10種類の回答肢を用意して複数回答してもらった。

その回答状況は、回答なしが僅少で、1人当たりの回答数は両回とも2.4であった。

表11には学年・性別、小学校区別に回答比率の高い順に掲示してある。83年、91年度の比較を通してこの間の動向をみてゆこう。

まず、全体的に、校庭の他では自分の家の中と庭、友達の家の中と庭があげられ、両回とも5位以内に入っている。なお、この間に自宅あるいは友人宅でも家の中が屋外の庭を追い抜き、とくに今回、自宅の「家の中」と答えたものが激増（32%→58%）している。つまり、塩田全体の子どもの放課後の遊び場としては、この間に自宅中心の屋内への傾斜が明瞭にみてとれるのである。

「校庭」が3位で、不動の座を保っているのは、屋外遊びで連続1位の野球のできる場所として小学校校庭が最適の場であるからであろうか。また両回とも6位に「道路」があげられており、「自転車乗り」の遊びの場であることがわかる。一方、子どもの自由な遊び場としての「空き地・広場」は8～9位と低く「社・寺」もその横並びである。子どもの遊び場として設置された「遊園地」は最下位で、「駐車場」がその上である。

学年・性別にみてゆくと、3年男子は、前回1位の「校庭」が今回5位へ下がり、反対に「家の中」は4位から1位へ上昇している。先にみておいたTVゲーム等の屋内遊びへの熱中ぶりに対応しているのであろう。3年女子では、やはり「家の中」が過半数で1位に上がるが、およそ、自宅あるいは友人宅の内・外を放課後の遊び場としていることがわかる。6年男子は、相変わらず野球のできる校庭が1位、その他では自宅や友人宅の屋内が比率を高め、逆に屋外の庭や道路等が低くなっている。6年女子も1位の「家の中」の比率が上がり、自宅や友人宅の庭先が低下している。なお、校庭をあげるものが増えているのは、専用のコートを要するバレーボールやテニスが新たに登場しているからであろうか。

校区別にみてゆくと、中塩田では、自宅や友人宅の屋内が18及び14ポイントと大きく増加、この他では「校庭」が7、家の庭が5ポイント増えている。反対に空き地が5、遊園地が14ポイントも減っている点が目立っている。東塩田では、自宅内が23ポイントも増加、空き地が11ポイント、校庭も2位に下がったが8ポイント増えている。一方、自宅や友人の庭が11及び8、神社や寺が10ポイント下がっている。西塩田でも自宅内が21ポイント増えたが、校庭が24ポイント低下している点はその他に比べて大きく異なっている。別所では、「駐車場」を除く各項目で増加、とくに友人宅の内外で30及び18ポイントも増えている。

4) 遊び仲間とその人数

遊び仲間については「あなたは誰とよく遊びますか？」と質問し、表12で見られるような6項目の回答肢を用意し、複数回答してもらった。また、遊び仲間の人数については「自分を含め、何人位

表12 あなたは誰とよく遊びますか (複数回答)

回答者比率：%、()内は実数

| | 総 数 | | 学 年 ・ 性 別 | | | | | | | | 小 学 校 区 別 | | | | | | | |
|---------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 3 年 | | | | 6 年 | | | | 中 塩 田 | | 東 塩 田 | | 西 塩 田 | | 別 所 | |
| | | | 男 子 | | 女 子 | | 男 子 | | 女 子 | | | | | | | | | |
| 調査年度 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| サンプル数 | 100.0 (406) | 100.0 (419) | 100.0 (113) | 100.0 (91) | 100.0 (103) | 100.0 (86) | 100.0 (105) | 100.0 (123) | 100.0 (85) | 100.0 (119) | 100.0 (140) | 100.0 (207) | 100.0 (120) | 100.0 (101) | 100.0 (98) | 100.0 (72) | 100.0 (48) | 100.0 (39) |
| 兄 弟 姉 妹 | 38.2 | 42.5 | 40.7 | 54.9 | 47.6 | 62.8 | 30.5 | 28.5 | 32.9 | 32.8 | 30.0 | 41.1 | 36.7 | 42.6 | 48.0 | 50.6 | 45.8 | 38.5 |
| 同ヒクラスの友 | 74.1 | 80.4 | 69.0 | 76.9 | 64.1 | 58.1 | 79.0 | 91.1 | 87.1 | 88.2 | 67.1 | 84.1 | 79.2 | 74.3 | 81.6 | 74.3 | 66.7 | 92.3 |
| 他のクラスの友 | 19.5 | 12.6 | 17.7 | 11.0 | 15.5 | 5.8 | 23.8 | 13.0 | 21.2 | 18.5 | 24.3 | 14.5 | 13.3 | 16.8 | 28.6 | 4.3 | 2.1 | 10.3 |
| 学年の異なる友 | 30.0 | 22.0 | 46.9 | 27.5 | 24.3 | 23.3 | 24.8 | 20.3 | 21.2 | 18.5 | 26.4 | 19.3 | 27.5 | 29.7 | 42.9 | 22.9 | 20.8 | 15.4 |
| 塾 の 友 | 3.4 | 2.9 | 4.4 | 2.2 | 1.9 | 3.5 | 1.0 | 4.1 | 7.1 | 1.7 | 4.3 | 3.4 | 2.5 | — | 5.1 | 2.9 | — | 7.7 |
| そ の 他 | 4.4 | 2.6 | 4.4 | 2.2 | 7.8 | 2.7 | 3.8 | 1.6 | 1.2 | 4.2 | 3.6 | 2.4 | 7.5 | 4.0 | 3.1 | — | 2.1 | 2.5 |
| 回 答 な し | 0.2 | 1.7 | — | 1.1 | — | 3.5 | 1.0 | 1.6 | — | 0.8 | 0.7 | 1.0 | — | 3.0 | — | 3.9 | — | — |

表13 自分を含め、何人ぐらいで遊んでいますか

回答者比率：%、()内は実数

| | 総 数 | | 学 年 ・ 性 別 | | | | | | | | 小 学 校 区 別 | | | | | | | |
|---------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 3 年 | | | | 6 年 | | | | 中 塩 田 | | 東 塩 田 | | 西 塩 田 | | 別 所 | |
| | | | 男 子 | | 女 子 | | 男 子 | | 女 子 | | | | | | | | | |
| 調査年度 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| サンプル数 | 100.0 (406) | 100.0 (419) | 100.0 (113) | 100.0 (91) | 100.0 (103) | 100.0 (86) | 100.0 (105) | 100.0 (123) | 100.0 (85) | 100.0 (119) | 100.0 (140) | 100.0 (207) | 100.0 (120) | 100.0 (101) | 100.0 (98) | 100.0 (72) | 100.0 (48) | 100.0 (39) |
| 1 人 | 3.0 | 2.6 | 0.9 | 2.2 | — | 3.5 | 9.5 | 3.3 | 1.2 | 1.7 | 5.0 | 2.4 | 1.7 | 4.9 | 3.1 | 1.4 | — | 2.6 |
| 2 人 | 18.2 | 21.2 | 10.6 | 20.9 | 33.0 | 30.2 | 10.5 | 11.4 | 19.8 | 25.2 | 30.7 | 20.8 | 11.7 | 17.8 | 7.1 | 30.6 | 20.8 | 15.4 |
| 3 人 | 24.1 | 30.5 | 17.7 | 28.6 | 30.1 | 36.0 | 21.0 | 26.0 | 30.2 | 32.8 | 25.0 | 26.1 | 22.5 | 43.6 | 18.7 | 26.4 | 37.5 | 28.2 |
| 4～5人 | 33.0 | 26.7 | 38.1 | 33.0 | 25.2 | 22.1 | 34.3 | 18.7 | 33.7 | 33.6 | 24.3 | 27.1 | 40.0 | 20.6 | 33.7 | 30.6 | 39.6 | 33.3 |
| 6～9人 | 11.6 | 9.1 | 11.5 | 13.2 | 9.7 | 5.8 | 14.3 | 13.8 | 10.5 | 3.4 | 5.7 | 9.7 | 20.0 | 5.9 | 14.3 | 6.9 | 2.1 | 17.9 |
| 10人以上 | 8.9 | 9.3 | 18.6 | — | 1.9 | 2.3 | 10.5 | 26.8 | 4.7 | 3.4 | 8.6 | 13.0 | 3.3 | 7.9 | 20.4 | 4.2 | — | 2.6 |
| 回 答 な し | 1.2 | 0.5 | 2.7 | 2.2 | — | — | — | — | — | — | 0.7 | 1.0 | 0.8 | — | 3.1 | — | — | — |

で遊んでいますか？」と質問し、表13のような6項目を用意し、単数回答を得た。

まず、遊び仲間に関する回答結果については、表12で学年・性別、小学校区別に示しておいた。全体的な動向をみておくと、「兄弟姉妹」及び「同じクラスの友」とするものがこの間に5及び6ポイント増加し、「他のクラスの友」及び「学年の異なる友」と答えた者が7及び8ポイント減、「塾の友だち」も微減である。つまり日常的に緊密で身近な家庭やクラス内に遊び仲間が小さく固まり、その外延部や異年齢集団への接近、拡大については消極的に経過していることが見てとれるのである。

学年・性別には、3年男子において上記の動向・特徴が顕著であり、「兄弟姉妹」及び「同じクラスの友」とするものがこの間に14及び8ポイントも増加、「他のクラスの友」及び「学年の異なる友」と答えた者が7及び20ポイントも減少している。3年女子では「兄弟姉妹」が15ポイント増加するが「同じクラスの友」とするものは減り、「他のクラスの友」も10ポイント減るが、「学年の異なる友」の方はほとんど変わらない。6年男子は「同じクラスの友」が12ポイント増加する代わりに「他のクラスの友」が11ポイント減少、「兄弟姉妹」と「学年の異なる友」はほとんど変わらない。6年女子の方はこの間、最も増減が少なく、「塾の友だち」の5ポイント減が最大の変動幅である。

小学校区別にみてゆくと、中塩田では上記の全体動向が一層増幅されており、「兄弟姉妹」及び「同じクラスの友」とするものがこの間に11及び17ポイントも増加、「他のクラスの友」及び「学年の異なる友」と答えた者が10及び7ポイント減少している。東塩田では「兄弟姉妹」以外の項目ではかなり異なり、「同じクラスの友」は5ポイント減、「他のクラスの友」及び「学年の異なる友」はプラスに転じ、4及び3ポイントの増である。西塩田では「他のクラスの友」及び「学年の異なる友」が前回の数値に比べて24及び20ポイントと激減しており、「兄弟姉妹」は微増、「同じクラスの友」の方は微減である。別所では「兄弟姉妹」が減少、「同じクラスの友」は激増、「他のクラスの友」は微増、「学年の異なる友」の方は微減で、全体に複雑な動きを見せている。

次に、遊び仲間の人数について表13で概略的な特徴をみてゆくと、全体的にはこの間に2人と3人が増え、4～5人と6～9人が減り、少人数化の傾向をみせている。

学年・性別には、3年男子では2人と3人が大きく増え、4人以上のとくに10人以上がゼロとなり、少人数化傾向は顕著である。それに比べて3年女子の方は大きく変わらず、微減、微増に止まっている。6年男子は4～5人が激減、その分10人以上が大きく増えており注目される。6年女子の方は2人が増え、6～9人が減っており少人数化傾向がみとめられる。

小学校区別では、中塩田では上記の全体動向とは異なり、1人と2人が減り、4～5人、6～9人、10人以上が増え、多人数化傾向を見せている。東塩田では、2人、とくに3人が激増、4～5人、6～9人が激減、また西塩田においても2人と3人の激増、6～9人、10人以上が激減しており、この間における少人数化傾向は顕著である。別所では反対に2人と3人、4～5人が減り、6～9人が激増している。

5) 子どもが欲しい遊び場や施設（複数回答）

これまで、塩田地区小学生の遊びをめぐると実態・動向をみてきたが、ここではこうした子どもの遊びをハード面で保障する“場”や施設に関する子供たちのニーズ（要望）についてとりあげる。質問紙には「あなたが家の近くにあったらよいと思う遊び場や建物は何か？」と質問し、表14でみられるような8項目の目ぼしい施設・遊び場に関する回答肢を用意し、複数回答をしてもらった。また、その他として自由記入欄を設けておいた。

回答結果については表14に示してあるが、まず回答の全体状況をみておくと、全項目無回答者は前回に2人のみ。一人当たりの回答数（回答項目合計数/回答者数）では、今回(4.2)が前回(4.0)を上回わり、性別には男子が、また中塩田と別所の小学校区から比較的多数の回答が寄せられ、遊び場・施設に関する高いニーズの所在がみとれるのである。また、前回に比して6年男子、中塩田・別所で増加が著しく、一方、西塩田小学校区はとくに減少している。

次に、表14で項目別にみてゆくと、全体的に、

表14 欲しい遊び場や施設 (複数回答)

| | | 総 数 | | 学 年 ・ 性 別 | | | | | | | | 小 学 校 区 別 | | | | | | | |
|---|------------------------|-------|-------|-----------|------|------|------|-------|------|------|------|-----------|------|-------|------|-------|------|------|------|
| | | | | 3 年 年 | | | | 6 年 年 | | | | 中 塩 田 | | 東 塩 田 | | 西 塩 田 | | 別 所 | |
| | | | | 男 子 | | 女 子 | | 男 子 | | 女 子 | | | | | | | | | |
| 調 査 年 度 | | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 | '83 | '91 |
| 回 答 状 況 | サ ン プ ル 数 | 406 | 419 | 113 | 91 | 103 | 86 | 105 | 123 | 85 | 119 | 140 | 207 | 120 | 101 | 98 | 72 | 48 | 39 |
| | 無 回 答 者 数 | 2 | — | 1 | — | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 回 答 者 数 (A) | 404 | 419 | 112 | 91 | 102 | 86 | 105 | 123 | 85 | 119 | 139 | 207 | 120 | 101 | 97 | 72 | 48 | 39 |
| | 回 答 数 合 計 (B) | 1,627 | 1,748 | 518 | 421 | 391 | 302 | 387 | 569 | 331 | 456 | 551 | 971 | 413 | 346 | 513 | 268 | 150 | 163 |
| | 1人当り回答数(B/A) | 4.0 | 4.2 | 4.6 | 4.6 | 3.8 | 3.5 | 3.7 | 4.6 | 3.9 | 3.8 | 4.0 | 4.7 | 3.4 | 3.4 | 5.3 | 3.7 | 3.1 | 4.2 |
| 項 目 別 回 答 者 比 率 (%) | ①野球やサッカーの できるグラウンド | 41.6 | 38.2 | 72.6 | 54.9 | 10.7 | 7.0 | 57.1 | 66.7 | 18.8 | 18.5 | 36.4 | 43.0 | 42.5 | 32.7 | 52.0 | 34.7 | 33.3 | 33.3 |
| | ②自転車を思いきり 乗り回せる場所 | 42.1 | 43.4 | 55.8 | 61.5 | 42.7 | 44.2 | 36.2 | 48.0 | 30.6 | 24.4 | 34.3 | 45.4 | 39.2 | 41.6 | 56.1 | 41.7 | 43.8 | 41.0 |
| | ③いろいろな遊びの できる広場 | 59.9 | 64.7 | 56.8 | 62.9 | 72.8 | 51.2 | 43.8 | 62.6 | 68.2 | 78.2 | 57.9 | 73.9 | 51.7 | 48.5 | 80.6 | 50.3 | 43.8 | 69.2 |
| | ④自由に使えるプールや スケートリンク | 62.5 | 73.0 | 55.8 | 68.1 | 66.0 | 68.6 | 54.3 | 74.0 | 77.6 | 79.2 | 67.9 | 83.6 | 55.8 | 56.4 | 70.4 | 61.1 | 47.9 | 82.1 |
| | ⑤子どもが 大勢で遊べる児童館 | 29.3 | 30.8 | 37.2 | 45.1 | 29.1 | 33.7 | 23.8 | 21.1 | 25.9 | 27.7 | 31.4 | 43.5 | 20.0 | 10.9 | 39.8 | 23.6 | 25.0 | 28.2 |
| | ⑥子どもの本が たくさんある図書館 | 40.2 | 43.9 | 39.8 | 42.9 | 53.4 | 48.8 | 26.7 | 41.5 | 41.2 | 43.7 | 39.3 | 50.7 | 36.7 | 39.6 | 50.0 | 31.9 | 31.3 | 41.0 |
| | ⑦魚釣りや水遊びの できる川や池 | 45.1 | 43.2 | 61.9 | 51.6 | 33.0 | 30.2 | 50.5 | 62.6 | 30.6 | 26.1 | 40.7 | 46.4 | 37.5 | 38.6 | 62.2 | 36.1 | 41.7 | 51.3 |
| | ⑧自然のなかで冒険 できるキャンプ場 | 60.6 | 64.9 | 61.9 | 67.0 | 59.2 | 60.5 | 55.2 | 70.7 | 67.1 | 60.5 | 68.6 | 71.0 | 45.0 | 55.4 | 80.6 | 61.1 | 35.4 | 64.1 |
| | ⑨そ の 他 | 19.5 | 15.0 | 16.8 | 8.8 | 12.6 | 7.0 | 20.9 | 15.4 | 29.4 | 25.2 | 17.1 | 11.0 | 16.7 | 18.1 | 30.6 | 23.6 | 10.4 | 7.7 |

回答者比率が高く、過半数を超えているものをあげると、③「いろいろな遊びができる広場」、④「自由に使えるプールやスケートリンク」、⑧「自然の中で冒険できるキャンプ場」で、とくに今回、④の項目が10ポイント増加し、塩田地区小学校における最大の要望項目になっている。

これらに続いて、②「自転車が思い切り乗り回せる場所」、⑤「子どもの本が沢山ある図書館」、⑦「魚釣りや水遊びができる川や池」は4割台で微増・減している。また、①「野球・サッカーのできるグラウンド」が今回、4割以下へ下がり、⑤「子どもが大勢で遊べる児童館」は微増し、3割台に達している。

⑨「その他」欄への自由記入回答のうち、めばしいものを紹介しておくと、前回分では、フィールドアスレチック、バッティングセンター、科学博物館、大遊園地、映画館等。今回はゲームセンター、ディズニールンドのような遊園地、ひとりで静かに過ごせるところ、などである。

学年・性別には、3年男子は、①と⑦が大きく減り、②③④⑤⑧の各項目で増え、とくに、④「自由に使えるプールやスケートリンク」への要望が高まっている。

3年女子では、今回、③は激減するが、その他の項目の増減幅は小さく、要望のトップはやはり④のプールやスケートリンクである。

6年男子では、⑤の児童館が微減する以外は各

項目で大きく伸びている。その結果、6割を超えるものは①③④⑦⑧の5項目、この内の④と⑧は7割台、各項目でニーズの高いグループである。

6年女子では、③と④が7割台で抜群に高いが、⑤の6割を除くその他では2割台が多く、遞減傾向を見せている。

小学校区別にみても、この間に都市化が急ピッチで進められた中塩田地区では、①～⑧の全項目で増加、とくに④が8割台、③と⑧は7割台で続き、全般的に各種の児童施設への要望が最も強く出されている。

東塩田地区では、馴染みの山地を切り崩し、工場団地に転換したこともあり、「自然の中で冒険できるキャンプ場」の増加が著しい。逆に「子どもが大勢で遊べる児童館」は、最近この地区内に児童館が新設されたためか半減している。

西塩田地区では今回、前回比の回答率が激減したが、項目別にみても①～⑧の全項目で減少、とくに⑦と③で低下が著しい。

別所地区では、とくに「自由に使えるプールやスケートリンク」、「自然の中で冒険できるキャンプ場」、「いろいろな遊びができる広場」にたいする要望は一段と高くなっている。

以下次号

（さくらだ ゆりこ 教授）

（1992. 9. 28受理）